



認知症とは？

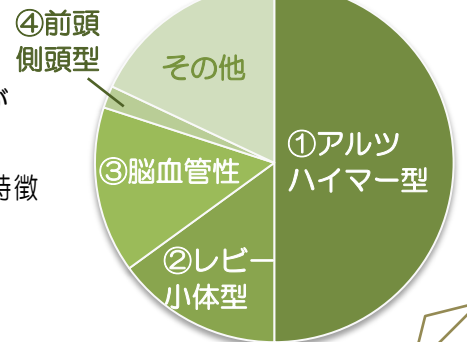
脳の細胞が損傷を受けて働きが悪くなり、認知機能の障害や、行動・心理症状（注）が進行することによって、生活に支障が出てくる状態です。

認知症の症状は様々で、対応する薬も異なります。

（注）本人の性格、環境、人間関係などの要因が絡み合って、精神症状や日常生活における行動上の問題が起きてくること。

認知症の主な種類

- ①アルツハイマー型認知症 記憶障害や物盗られ妄想等の症状が見られやすい。
- ②レビー小体型認知症 幻視やパーキンソン病のような症状が特徴
- ③脳血管性認知症 脳梗塞や脳出血等が原因
- ④前頭側頭型認知症 人格変化や反社会的な行動が特徴



●認知症と症状が似ている病気

認知症のような症状が現れても、認知症ではなく、治る病気や一時的な症状である場合があります。慌てて自己判断をしないで、専門機関に相談し、適切な診断を受けましょう。

代表的なもの

- 正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫 …手術などの処置で症状が落ち着く場合があります。
- 不適切な薬の使用 …内服薬の整理・調整で回復します。
- 甲状腺ホルモン異常 …内科的な治療で良くなる場合があります。



早期発見・早期受診が大切です！

認知症は誰もがかかる可能性のある病気です。

症状が軽い段階で気づき、適切な治療を受けたり、周囲の人が対応を学ぶことで、症状の進行を遅らせ、症状が改善する場合があります。「もしかしたら…」と思ったら、一人で悩まず、かかりつけ医や専門家に相談しましょう。

●認知症への対応と治療

薬物療法

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症には、中核症状を抑える薬があります。症状によっては、数種類の薬を併用する場合があります。

非薬物療法

脳の神経細胞を刺激する行動を取り入れ、楽しさや喜びを感じることで、悪化を防ぎます。代表的なものは、回想療法、園芸療法、音楽療法などです。

ケア（介護）

家族や介護職員によるサポートやコミュニケーションは、認知症の進行を遅らせるのに効果的です。認知症の方の自尊心を守り、尊厳を持って対応することが大切です。